

令和 8(2026)年度経済学部
「グローバル・リーダーズ選抜クラス(第 13 期生)」
概要と募集要項

概要

各領域で国際社会の改善を主導する人物を育成するため、一橋大学経済学部「グローバル・リーダーズ・プログラム」の選抜クラス第 13 期生（2026 年度開始）を募集する。このクラスの学生は、以下の特別カリキュラムを通じて、世界最高水準の人材になることを目指す。

選抜クラス参加の目的

- ① 日本語及び英語をはじめとする優れた語学力に裏打ちされた高度なコミュニケーション能力を身に付ける
- ② 現実に即した理論分析能力を基軸としつつ、世界の動向に的確に対応したアジェンダ・セッティング能力を身に付ける
- ③ 日本の仕組みやルールを世界標準として確立させる論理的展開力、問題解決のための政策提言能力を身に付ける
- ④ グローバル社会のなかにおける日本のプレゼンス向上に寄与し得るシステム改革を成し遂げるイノベーション能力を身に付ける

選抜クラス参加の主なメリット

- ① 部局間学生交流協定校（一橋大学全体ではなく、経済学部および商学部が独自に結んだ協定をもとに派遣留学を行っている外国大学のこと）への長期派遣留学の選抜においては選抜クラス学生が優先される。
- ② 短期海外調査及びこれと連動する基礎ゼミナールへの参加は選抜クラス学生が優先される。
- ③ 2026 年度開講予定の、選抜クラスを主な対象とする英語のサポートのための基礎ゼミナールの履修においては、選抜クラス学生が優先される。それにより英語のサポートの機会を得ることができる。
- ④ グローバル・リーダ者育成に関する選抜クラス限定イベントへの参加。
- ⑤ グローバル・オフィスのスタッフによる、海外留学等に向けての助言の機会を得ることができる。
- ⑥ 修了要件を満たすことで、卒業時に優等学位 **honors degree** として経済学部グローバル・リーダーズ・プログラム修了証書が授与される。

プログラム修了要件（本要件の適用対象は第 13 期生）

- ① 英語によって行われている専門科目に関する単位要件（本資料最後のページを参照のこと）
- ② 短期海外調査への参加（現地渡航予定だが、現地での治安や安全確保等を理由として大学が派遣中止を決めた場合はオンラインの可能性はある）
- ③ 短期海外調査と連動する基礎ゼミナールとそれに付随する英語ゼミナールへの参加
- ④ 長期派遣留学（1 年）への参加（外国からの国費留学生であるなど長期派遣留学に参加できない特段の事情がある場合、または現地での治安や安全確保等を理由として大学が派遣中止を決めた場合を除く）

募集要項

1. 選抜人員 20名程度

2. 出願資格

2026 年 4 月に経済学部 2 年次に進級予定で、卒業時に経済学部グローバル・リーダーズ・プログラム修了証書の授与を希望する経済学部生。

3. 出願手続き

(1) 出願期間

2025 年 12 月 8 日（月）～2026 年 1 月 6 日（火）正午まで

(2) 出願書類

- ① 経済学部グローバル・リーダーズ選抜クラス参加願
（manaba の出願受付サイトに掲載された所定の書式に依ること）
- ② 志望理由書：2,000 字程度（書式自由,英語可）
- ③ 「英語に関する試験・検定等」に係る証明書類（上記①の参加願の該当欄に記載がある場合のみ）（複写可）

(3) 出願要領

●提出先

manaba の「グローバル・リーダーズ・プログラム」（コースコード：20181112）のレポート機能にて提出。

●提出方法

manaba のレポート画面の「2026 年度経済学部 GLP 出願受付」より参加願

をダウンロードのうえ記入し、出願書類一式を「ファイル送信レポート」にて提出すること。レポートファイルの件名は「〇〇（提出書類名）__学籍番号：氏名」とする。

（例：経済学部グローバル・リーダーズ選抜クラス参加願__2225000x：経済太郎.docx）

4. 選考方法

出願書類に基づき第1次審査（書類選考）を行い、第1次審査の合格者を対象に第2次審査（面接試験）を行う。出願書類、面接試験、1年次成績※、及び2025年度中に行われる二回の英語プレースメントテストの成績を総合して、最終合格者を決定する。

※成績証明書の提出は不要とするが、審査のために教職員が成績状況を確認するものとする。

5. 第1次審査（書類選考）の結果発表

2026年1月14日（水）

6. 第2次審査（面接試験）

（1）日程：2026年1月16日（金）～30日（金）を予定

（詳細は追って連絡する。また、集中講義受講者は時間を考慮する。）

（2）試験方法：オンライン面接

面接方法や日程については、CELSの個人向け掲示板および教務課、またはグローバル・オフィスからのメールを適宜確認すること。

（3）結果発表：2026年2月13日（金）

7. 最終合格者発表

2026年3月17日（火）

※第1次審査、第2次審査および最終合格者の発表は全て、合格者・不合格者ともにCELSの個人向け掲示板に掲示および教務課よりメール連絡にて行う。

8. 注意事項

（1）出願に関する問い合わせは、経済学部グローバル・オフィスで受け付ける（g-office@econ.hit-u.ac.jp）。

（2）出願書類に不備がある場合には出願を受け付けない。

（3）修了要件等プログラムの内容に変更が生じる可能性がある。

備考：グローバル・リーダーズ選抜クラス(GL 選抜)英語科目履修要件

卒業までに、経済学部専門科目の単位（ゼミを除く）の6割以上を英語による授業で修得すること。具体的には、経済学部を卒業するために必要なゼミを除く専門科目の最低単位数（68-8=60）の6割以上、つまり **36 単位以上**である。

本要件を満たすために算入できる英語科目の範囲は次の通り。

① 経済学部の英語開講科目・英語スキル科目
ただし、長期派遣留学に参加できない国費留学生は他学部の英語科目を含むことができる。

② 短期海外調査に付随する基礎ゼミナールと英語ゼミナール

③ 海外調査A、海外調査 B

(注 1) 具体的な該当科目リストは、年度初に本プログラムのホームページに掲載。

(注 2) 基礎ゼミナールを含め、成績表上は「自由選択科目」として扱われた科目であっても、上記リストにある科目であれば、本要件に算入できる。

④ 派遣留学先取得単位のうち、「振替認定」によって経済学部専門科目への振替が認められたもの

⑤ 派遣留学先取得単位のうち、「科目認定」によって「派遣留学特別講義」への振替が認められたもので、グローバル・リーダーズ・プログラム運営委員会が経済学科目としての専門性が十分に高いと認定したもの。

【特例】1月または2月に派遣留学から帰国し、その年度に卒業する学生、および4年次から派遣留学を開始し、5年一貫教育システムで修士課程に進学する学生については、単位互換が卒業するまでに間に合わない場合に限り、特例として、単位互換していない科目でも、留学先で取得した単位を GLP 選抜クラス英語科目として申請することが可能であり、グローバル・リーダーズ・プログラム運営委員会が認定すれば、それらの単位も算入できる。

以上